

サ・メッセージ

あたたかな心のメッセージ

San Message

豊田西病院 広報誌
2003.8.28 Vol.15

15

地域の中でトータルな心のケアと社会復帰を支える



外来機能の充実へ向けて

—第2デイ・ケアのスタート—

院長 坪井 重博

今年度の当院の課題の一つである“第2デイ・ケア”が4月1日スタートしました。今回は、その設立経緯と今後の課題についてお話をさせていただきます。

SSTとは

入院生活技能訓練療法 (Social Skills Training)
服薬習慣、金銭管理、対人関係、作業能力等の獲得をもたらすことにより、社会生活機能回復を図ります。

当院は今年1月より外来機能の充実化をはかるため、外来における作業療法及び集団精神療法を導入しました。従来の訪問看護と合わせて充実化を進めてまいりました。これらを展開する中で、従来のデイ・ケア (大規模) とは別に、新たに作業プログラムを中心としたデイ・ケアの必要性を実感しました。当院のように、社会復帰施設 (通所授産施設“サン・ワークショップ”・福祉ホーム“サン・ドーム”・地域生活支援センター“サン・クラブ”) を併設した医療機関においては、さまざまなニーズに対応する形で、つねに地域精神医療の新しい形へのチャレンジが求められます。そこで、今回の第2デイ・ケア (大規模) 開設の運びとなりました。

従来のデイ・ケアは第1デイ・ケアとして「生活支援型」と位置付け、安心できる場所として、生活支援を中心とします。

そして、今回開設しました新しい第2デイ・ケアを「デイ・プログラム型」と位

置付け、作業療法やグループ活動・農耕作業・SST等をプログラムの中心に置き、創作活動を主に社会生活機能の回復、対人関係の相互作用を用いた自己洞察の深化・社会適応技術の習得、学習による病状改善をはかるものとして展開してまいります。

今回開設にいたる根底には、個々の患者さんにもっとも適した医療を正し

く提供するという方針の下に、患者さん自身が自分らしく、その人らしく生きていけるようにするために、私たち医療スタッフにできることは何か? という想いがあります。この想いを一つ一つカタチにしながら外来機能の充実をはかるために、今後も“地域に開かれた病院づくり”を目指し、精神医療の包括的活動に取り組みたいと考えております。

第2 デイケア



新病棟に移って半年、 心落ち着く家庭的環境が好評です

看護部門より

看護部長 近藤 隆保



今年1月21日から2つの病棟が、それぞれ新しい建物に移りました。当初、患者さんや職員たちはそれまでと雰囲気（か）ががらりと変わった新病棟を、戸惑いを隠し切れない状態で見渡していました。

病室、廊下そしてスタッフルームの床に明るい彩（しゅうたん）の絨毯が敷き詰められていたり、また木目調の洗面所、手すり（てすり）が作られており、ホテルの中にいるかのような、また自宅に帰ってきたかのような気持ちにさせられました。また、浴室の入口には「のれん」が掛けられていて、温泉にでもいるような気分になります。のれんをくぐると脱衣室も浴室も広く、天井も高く作られていて、「さあ今から落ち着いてゆっくりとお風呂に入るぞ!」という気持ちにな

ります。食堂は椅子やテーブルが斬新で、レストランみたいな雰囲気（か）を醸し出しています。

そして半年が過ぎた今、それぞれの病棟の患者さんから、新しい建物に移ってからのご感想やご意見をいろいろ寄せいただきましたので、一部紹介いたします。

みなさんからは「病院らしくない」「チェストが使いやすく、ロッカーも付いており便利」「お風呂がきれい」「住み心地が良い」「明るい気持ちになり落ち着く」「外の眺めがきれい（か）で気持ちがなごむ」「ホールが広い」「カーテンが付いているから、プライバシーが守られて良い」など、大変

良い評価をされていることがわかりました。

このような家庭的な環境の中で少しでも患者さんのニーズに応えられるような看護を目指して、「やさしさと豊かな人間性で、患者さんと心かよいあう看護を提供します」の看護理念のもとに、新たな姿勢で患者さんを見守っていきたく思っております。



新任医師のご紹介

この春から新しくスタッフの仲間入りをした医師をご紹介します。診察室の外でもお気軽に声をかけてください。一日も早くみなさんと親しくなれることを願っています。



弱い者の心の味方です

医師 小出 将則

みなさん、こんにちは!
平成15年4月から毎週火曜日、非常勤で働いています。他の曜日は週4日、名古屋・星が丘マタニティ病院に勤

めています。ただし産婦人科ではなく、内科・心療内科です。その前は名古屋第2赤十字病院の精神科にいました。

今の時代、職業を名乗ると必ず「専門は?」と聞かれます。僕は、「心身医学」と気取ることもあれば、「何でもやります」と大風呂敷を広げることもあります。ほんとうは不器用な小心者ですが、弱い者の心だけは忘れずにいたいと思っています。



気軽に声をかけてください

医師 花井 真紀

はじめまして!
平成15年6月より豊田西病院にて月曜日精神科外来を担当させていただく事となりました。

とくに専門分野はありませんが、諸先生方にご指導いただき、診療の上で少しでも皆みなさまのお役に立てればと考えております。

週1回の勤務ですので、お目にかかる機会が少ないかとは思いますが、気軽に声をかけて下さると嬉しいです。

どうぞよろしくお願いいたします。

心が伝わる手作り品のご紹介

社会復帰へのステップとして、メンバーさんたちの手作り品を販売しています。
機能、使い勝手、デザインにもこだわった品を、ぜひあなたの生活にお役立てください。



マット

さまざまなアップリケを施し、加工しています。吸水性にも優れており、とても長持ちします。



木工製品

調味入れ・ティッシュ箱・鳥の食事台などを作っています。機能性が高く、とても使いやすくなっています。



カゴ(バック)

エコクラフトという牛乳パックや古紙から再生された紙バンドで作った製品です。軽く、いろいろな使い方ができ、たいへん便利です。



巣箱

鳥たちがここを子育てまたは寝ぐらにしてくれることを願いながら作っています。また、部屋のインテリアとしても最適です。



布製品

ランチョンマット・コースター等、色とりどりの布地やひもなどを使って、カラフルな仕上げにしています。また、形や裁縫にも工夫を凝らしています。

お問い合わせはコチラまで

サン・ワークショップ

医療法人 研精会 豊田西病院

〒470-0344
愛知県豊田市保見町横山100番地
TEL. 0565-48-8331

売れると、うれしい。
働くことの意味と
意欲が、ここから。

メンバーさんひとりひとりが社会復帰の願いを込めて、丹念に作っているので、どの製品にも手作りの良さと温かさがあります。

時には苦労や、さまざまな壁にぶつかるともありますが、こうした体験を通して、将来社会参加するにあたって「働く」ということの

意味を知ることができます。これらの製品は、毎月第1月曜日の“庭先販売”で、あるいは福祉の店“きらり”（豊田市松坂屋9F）で販売しています。また、常時サン・ワークショップでも注文を受け付けています。ぜひ、実際に手にとってご覧ください。お待ちしております。

3月のある日、サン・クラブにパソコン2台と最新型のプリンターがやってきました。この日からサン・クラブはちょっと変わったのです。「パソコン?! すごいね!」「カッコいいねえ!」「インターネットできるの?」と大きくて楽しそうな声が絶えることはありません。でも、スタッフをはじめメンバーさんも、みんなパソコン初心者ばかりのため、さまざまな珍事件が続出です。

ホームページを見ているうちに、突然音楽が鳴り出して飛びあがったこともありました。また、印刷をしようと思ってボタンを押した続けられたら、20枚も印刷されたことも! こんな事件ばかりで、毎日が笑いの連続です。

みんなが見た初めてのホームページは“豊田西病院”!!「理事長先生が載っているよう〜」「院長先生、若い!」「サン・クラブのこ

地域生活支援センター“サン・クラブ”

はじめて触った!面白い! パソコン導入に大騒ぎ。

とも書いてあるよ!と、うれしそうな声があがりました。みんなの日常をパソコンで見ることができると、なんだか不思議ですね!

サン・クラブにパソコンが入って5ヶ月。今ではメンバーさんのほとんどが、パソコンを利用しています。最新の世界ニュースに驚いたり、野球チームの成績に歓喜したり、天気予報を見て旅行に行く日を決めたり、求人情報を見てため息をついたり、画面に大きく写し出された好きな芸能人にうっとりしたり…。みなさん、それぞれに楽しまれています。

これからサン・クラブでは「もっとパソコンのことを知りたい!」「いろんなことができるようになりたい」というメンバーさんの声に応えられるように、いっしょに勉強していきたいと思っています。



! information

豊田西病院インフォメーション

常に質の高い精神科医療の提供を目指して日々変化する豊田西病院。

このコーナーでは、そんな豊田西病院の最新情報をお届けしていきます。

みなさん、よろしく
おねがいします!



外来担当医のご案内

曜日	第1診察	第2診察	第3診察
月 曜	大橋 直哉	花井 真紀	森 省二
火 曜	坪井 弘次	小野 宏	小出 将則
水 曜	坪井 重博	嶋 宏昭	豊田 かおり
木 曜	小野 宏	森 省二	
金 曜	豊田 かおり	大橋 直哉	
土 曜	坪井 重博	嶋 宏昭	廣江 隆弘
日曜・祝日	休 診		
受付時間	午前8時45分～11時45分		
診療時間	午前9時～12時00分		

スタッフからの
お知らせ!

愛知県精神科救急情報センターの開設(7月1日)

愛知県と名古屋市が愛知県精神病院協会に運営委託して開設されました。電話による緊急の精神医療相談に対応しますので、ご利用ください。

電話番号 **052-339-1581**

外来診療の流れが変わりました!

受診される方のプライバシーへの配慮から、診察室へのご案内を含め、カードによる番号にてお呼び出しさせていただいております。まず番号にてお呼びし、次に窓口にてお名前を確認させていただいておりますので、よろしくお願いいたします。

西方見聞録

イベント ● トピックス

2003年4月～2003年8月

8月9日

盆踊り大会

台風10号が去った日、回復するであろう天気に関心を込めて準備を急ピッチで行いました。夏の風物詩“盆踊り”の雰囲気を楽しめたらとの思いでしたが、グラウンドは台風の余波で使えず、駐車場を利用して、夜店が始まりました。それでも、後半は盆踊りの音楽に合わせてみんなで手拍子と踊りの輪ができました!来年はすばらしい天気に恵まれますように!



7月29日

リチャード・G・ペティ氏来院 (ジョージア州立大学教授)

日本での講演の前に、社会復帰施設併設医療機関の施設見学という趣旨で訪問されました。日本とアメリカとの入院施設の違いや入院期間についてなど、興味深い質問と応答が熱心に交わされ、当院スタッフにとっても貴重な経験となりました。



5月21日

デイ・ケア春の行楽(愛知牧場)

雨模様の日でしたが、往路は元気よく徒歩で現地へ到着しました。歩き疲れる様子もなく、すぐにバーベキューの準備開始!みんなで準備して、みんなで食べる食事は格別でした。徒歩でがんばったのがよかったかな!



6月12日

西三河デイ・ケア 施設交流会

4月にスタートした、第2デイ・ケアを会場として、西三河地区のデイ・ケア担当スタッフとの地域交流会が開催されました。

4月2日

お花見会

毎年恒例のお花見会は大切な季節行事です。お天気を気にしながらの日でしたが、のんびり桜を眺めていると、心地よ～い気分!



増改築ニュース!

第2期工事も後半となりました。今年は雨が多く、工期延長が心配されましたが、何とかこの秋には新館完成の予定です。1階には、リニューアルオープンの喫茶に、新たに売店も加わり、多くの方々に利用いただける施設となるよう準備を進めております。



意見箱のご案内 — あなたのご意見を待っています —

みなさんのご要望、ご意見に耳を傾け、よりよい病院づくりを目指すために、昨夏より意見箱を外来ロビー・各病棟に設置しています。この箱は定期的に回収し、お答え・取り組み・進捗状況を掲示させていただいております。みなさまからの率直なご意見により、スタッフもいろいろな視点に気づかされ、気持ちを新たにしています。みなさまからの声をもとに、今後も“地域に開かれたよりよい病院づくり”を目指してまいります。どうぞ、お気軽にご意見をお寄せください。

豊田西病院 広報誌

サン・メッセージ

San Message

平成15年8月28日発行 第15号

医療法人 研精会



豊田西病院

〒470-0344 愛知県豊田市保見町横山100番地
TEL. 0565-48-8331 FAX. 0565-48-8318
<http://www.toyotawest.or.jp/>